学校番号	1205

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	(学)基礎学演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では主に次の３つの活動を行う。①５教科（国数英理社）の基礎的なプリントを解く。②一般常識や基本的な計算能力を身につけ確認テストを解く。③タブレットを使い作品を作ったり課題を解決したりする。
・①について、教員がプリントを配布し提示された時間内で解答する。クラス全体で答え合わせをしたあとは教員がプリントを回収し評価する。プリント返却後はファイルに綴じる。
・②について、漢字、ことわざ、英単語、元素記号、動植物、地理、歴史等の一覧表を配布するので、提示された時間内で暗記し、その後確認テストを行う。計算については、計算方法を全体で確認し、類似した問題を解く。
・③について、「イベント案内のチラシ」「数値データをまとめた表」等を、タブレットを利用して電子データとして作成する。学校から配布されたタブレットが必要になるので、教員から指示があれば必ず持ってくること。
・提出プリントや確認テストの結果、タブレットでの制作物等は評価の対象となる。

2　学習の到達目標

(a)学びなおした５教科の基礎を復習し自身の能力として定着できる。
(b) 授業で扱った内容に適切に解答することができ、課されたルールの中で制作物を作成することができる。
(c) 意欲的に基礎学力を身に付けようとすることや、それを適切に言動に表現することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各教科（国語・数学・英語・理科・社会）に関する基礎学力を身に付けている。 一般常識、コンピュータの基本的な操作方法を身に付けている。	授業で扱った内容を問われた際に適切に解答することができる。課されたルールの中で制作物を作成することができる。	基礎学力を身に付けることに意欲を持ち、それを適切に言動に表現することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期		・各教科（国語・数学・英語・理科・社会）の基礎問題プリント ・一般常識に関するプリント ・文書作成ソフト・表計算ソフト・スライド作成ソフトを利用した課題	a: 各教科（国語・数学・英語・理科・社会）に関する基礎学力を身に付けている。一般常識、コンピュータの基本的な操作方法を身に付けている。 b: 授業で扱った内容を問われた際に適切に解答することができる。課されたルールの中で制作物を作成することができる。 c: 基礎学力を身に付けることに意欲を持ち、それを適切に言動に表現することができる。	定期考査・確認テスト・制作物	定期考査・確認テスト	授業態度・提出物
2学期		・各教科（国語・数学・英語・理科・社会）の基礎問題プリント ・一般常識に関するプリント ・文書作成ソフト・表計算ソフト・スライド作成ソフトを利用した課題		定期考査・確認テスト・制作物	定期考査・確認テスト	授業態度・提出物
3学期		・各教科（国語・数学・英語・理科・社会）の基礎問題プリント ・一般常識に関するプリント ・文書作成ソフト・表計算ソフト・スライド作成ソフトを利用した課題		定期考査・確認テスト・制作物	定期考査・確認テスト	授業態度・提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度